

J A 自己改革推進レポートについて

令和7年1月23日
J A 鳥取県中央会

1. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取いなばの取り組み

①「鳥取茸王」「とっとり115」出荷目合わせ会

J A 鳥取いなば営農指導センターは12月20日、鳥取市の日本きのこセンター菌茸研究所で「鳥取茸王」「とっとり115」の出荷目合わせ会を開催した。出荷要領・規格を確認し、現物査定をして令和6年度産の仕上がりを確認した。

同J Aは原木栽培による肉厚で味・香りともに良質なシイタケ生産を支援している。鳥取県では傘の直径5センチ以上を「とっとり115」、傘の直径8センチ以上、厚さ2.5センチ以上は「鳥取茸王」と名付け、ブランド化に力を入れている。



②女性大学「ルシール」第4回講座 ミニ門松づくり

J A 鳥取いなばは12月25日、鳥取市のとっとり出合いの森で女性大学「ルシール」第4回講座を開催した。第9期生12人が参加し、ミニ門松づくりを体験した。

スタッフの山岡達也さんが作り方を説明。その後、参加者は土台の孟宗竹や真竹をノコギリで切り、3本束ねた竹を立て土で固定。松や梅、ナンテン、笹などで飾り付けをし、高さ約40センチのオリジナルミニ門松を作成した。



以上